

企業概要

本社 佐賀県多久市多久町3555-120

設立 1976年12月25日

資本金 2,000万円

代表者 代表取締役社長 山口篤樹

従業員数 140名

業種 製造業

事業内容

- ・膜構造建築物
- ・合成繊維、金属及び合成樹脂保安用資材、一般産業資材並びに製品販売
- ・化製品の製造並びに販売
- ・建設業



企業HP



脱炭素経営の背景とスローガン

脱炭素経営のきっかけ・背景

当社が脱炭素経営に取り組むきっかけは、持続可能な社会の実現と企業の成長を両立させる必要性を強く感じたことです。

膜構造建築物は軽量で施工時の資源使用が少なく、採光性や断熱性にも優れており、お客様の環境負荷低減に貢献できます。近年の成長とともに、当社のエネルギー使用量も増加しており、これを効率化しながら事業を発展させることが課題でした。お客様の期待に応え、持続可能な社会の実現に向け、脱炭素経営を推進しています。

代表取締役 山口篤樹

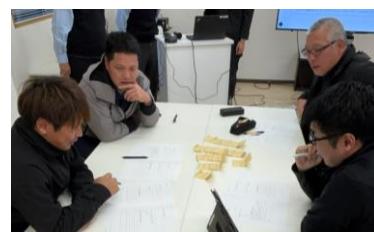


GXスローガン

膜でZEROを目指す

このスローガンには、「膜構造で、CO2(脱炭素他に貢献)や消費エネルギー(ZEB等)に限りなくZERO(0)にすることを目指す」という思いを込めています。

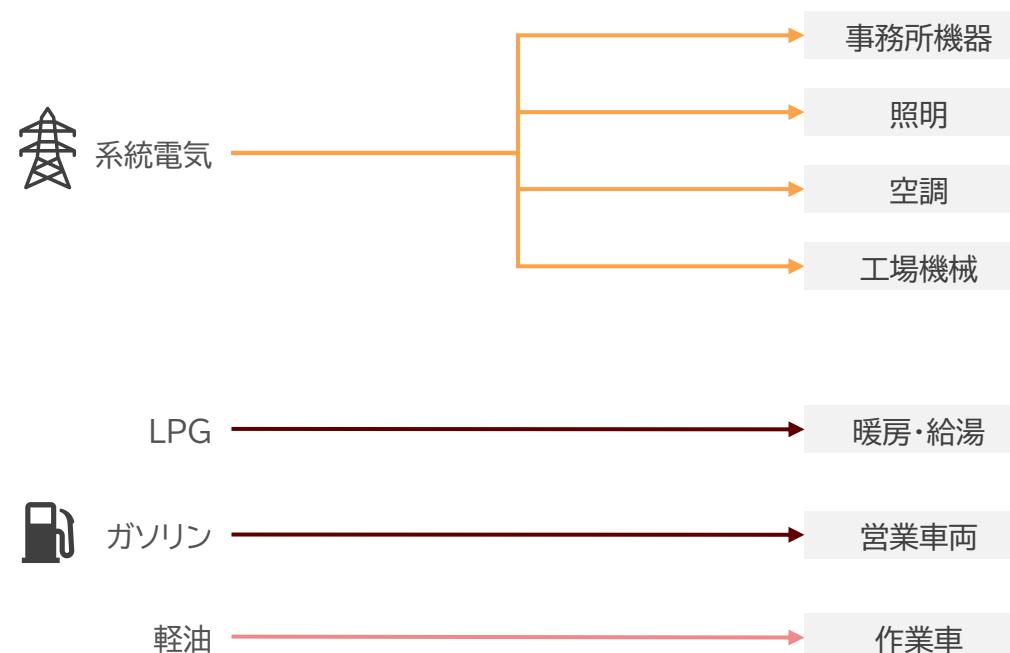
スローガンの策定は社内でのワークショップを通して行い、社員の環境意識向上や自社のGX方針に対する理解度向上の機会となりました。スローガンは社内に展開し、社員一人一人が排出量の削減に貢献します。



エネルギー使用状況の可視化

エネルギーフロー図

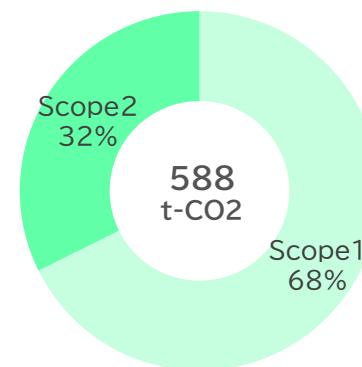
当社では、営業や輸送のために多くの車両を保有しているため、ガソリン・軽油の消費量が多くなっています。オフィス機器や照明空調、工場での建設材の溶接等で電気を消費しています。



自社排出量の内訳

2023年度の自社活動によって排出された温室効果ガス量の合計は588トンでした。これは、杉の木のCO2吸収量/年に換算すると41,748本分になります。

当社のGHG排出量内訳は、自社で使用する燃料由来のCO2排出量(Scope1)が398t-CO2、他社から供給された電気・熱使用由来のCO2排出量(Scope2)が190t-CO2であり、車両の稼働による軽油・ガソリンの消費に由来する排出量が全体の6割以上を占めています。



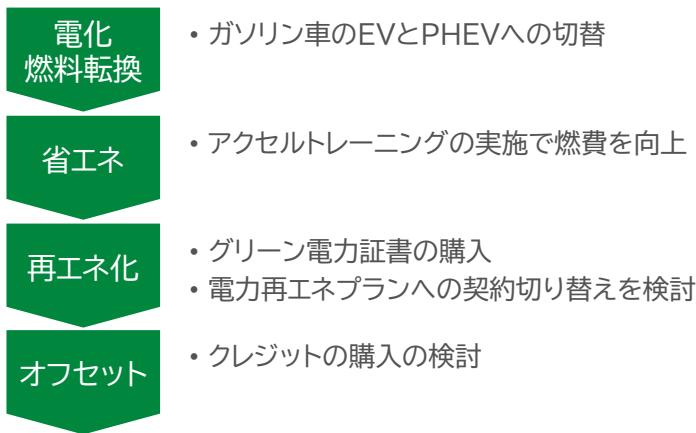
588 t-CO2 = 杉の木 41,748本が1年間で吸収するCO2量

部門	エネルギー種別	年間使用量	CO2排出量
Scope1	軽油	95.3 kL	247.6 t-CO2
	ガソリン	65 kL	149.9 t-CO2
	LPG	0.2 t	0.6 t-CO2
Scope2	電気	441,449 kWh	190 t-CO2
合計			588 t-CO2

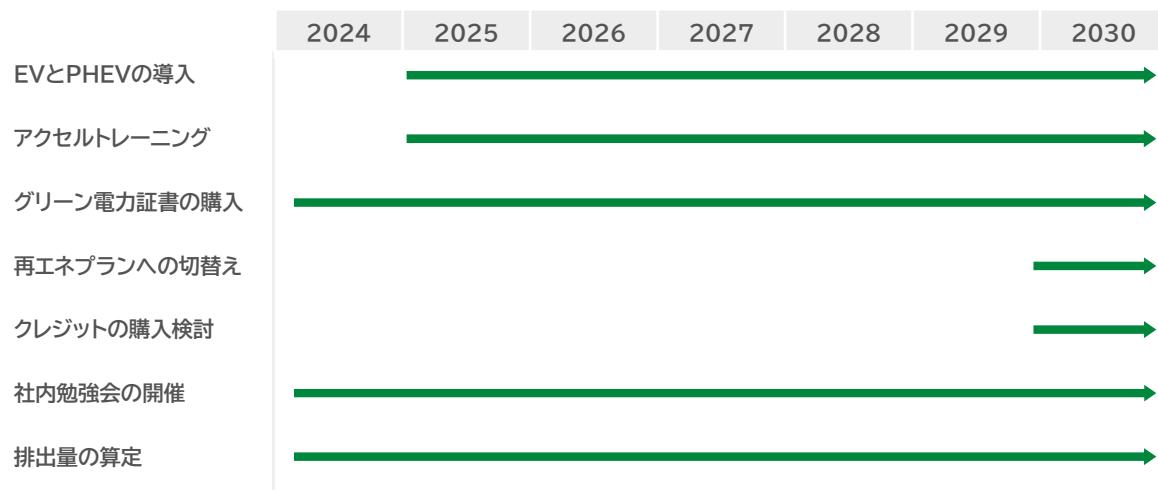
自社GHG排出量の削減に向けた取組

削減計画の策定

削減の流れ



削減目標：2030年度までに42%削減(2023年度比)



実施施策のご紹介

Green Transformation Product

これまでやってきたハード面の取り組みは以下の通りです。

- 本社鉄工工場の屋根に太陽光パネルの設置、自家消費
- 北多久工場の屋根に太陽光パネルの設置
- 本社鉄工工場に地下水クーラーの設置
- グリーン電力証書の購入
- 北関東工場の屋根に太陽光パネルの設置、自家消費
- 本社事務所上に太陽光パネルの設置、自家消費
- 本社EV充電設備設置

このような努力を積み重ねることは、環境対応だけでなく、山口産業の競争力を高め、そして私たち全員が誇れる企業としての将来を見据えた重要な基盤になると考えます。

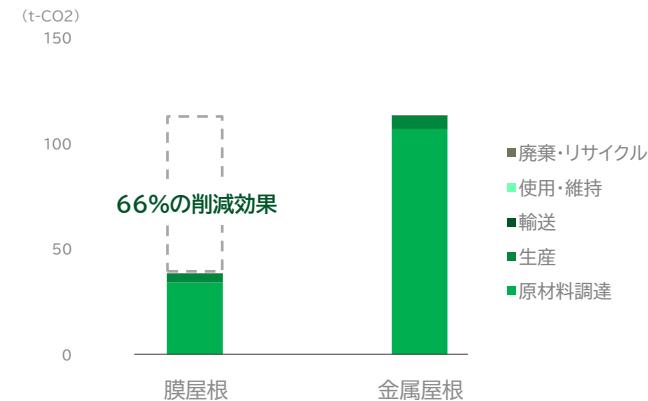
本社工場の太陽光パネル



CFP算定取組

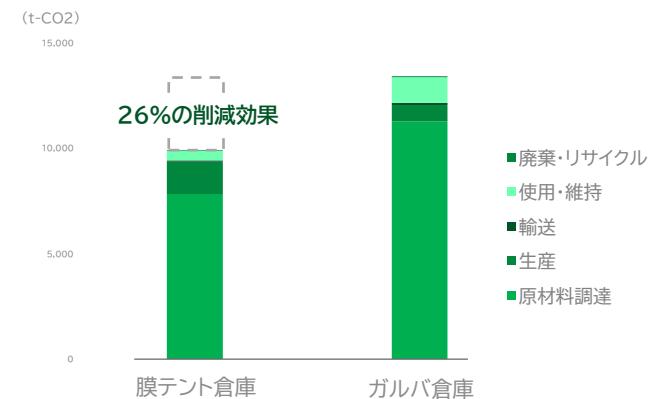
CFP(カーボンフットプリント)とは商品やサービスのライフサイクル全体で排出される温室効果ガスの量を追跡し、CO2に換算して表示する仕組みです。

膜屋根



金属(アルミハニカム)屋根の製品と比べ、CFPが66%少ない

膜テント



ガルバリウム鋼板の製品と比べ、CFPが26%少ない

中小企業版SBT認証

中小企業版SBTを取得しました！

当社は、温室効果ガス削減のための科学的根拠に基づく目標を掲げ、「中小企業版SBT」を取得しました。

✔ SBTとは？

SBT(Science Based Targets)とは、企業がパリ協定の目標(1.5℃目標)に沿った温室効果ガス削減目標を設定するための国際的な枠組みです。

✔ 山口産業の目標

基準年度	2023年度
目標年度	2030年度
目標削減率	42%
目標年度排出量	341 t-co2

開示目標の達成に向け、削減計画を実行していきます。

